



竹内 功治
(創造みらい半田)



「デジタルシティ・はんだ」を目指した取組み

問 DXを活用して、幼児教育士や保育士の負担軽減を図っていますか。

各園の事務用パソコンが不足していますので全正規職員分を整備します。またタブレット端末も整備して、より業務の効率化を図ることで負担軽減に努めます。

問 子育て支援の充実に向けて、DXの活用をどう進めますか。

予防接種等の手書きの問診票をDX化することやアプリを利用しての子育て相談やオンライン申請等を広く伝えることで、DXの活用を進めていきます。

問 児童生徒の理解が深まりやすいデジタル教科書の利用を進めてはどうですか。

まず今年度は小学校、来年度は中学校の全教科の教員用教科書をデジタル教科書に切り替え、今後の本格利用に備えていきます。

問 生成AIを活用して、市民サービスの向上や職員の負担軽減を考えてはどうですか。

今年度、デジタル課で有料の生成AIアカウントを試験導入して活用を検討を行います。また契約している「DX推進アドバイザー」の意見を参考にして、市民サービスの向上を図ります。

問 「デジタルシティ・はんだ」の窓口である公式LINEの登録者数を増やす取組みは行っていますか。

様々な状況下において広報活動に努めています。



有留 麻由
(無所属)



災害時における避難行動要支援者への対応

問 避難行動要支援者名簿と個別避難計画の課題は何ですか。

個人情報提供の意向確認や作成した個別避難計画の実行性をどのようにして担保していくかが課題です。

問 個別避難計画をまだ作成していない方への働きかけはどのようなにしていますか。

今年度は民生委員に精力的に回っていただくように考えています。

問 個別避難計画が自記式なため、民生委員と顔を合わせていないことはありますか。

今年度からは自記式の方も顔を合わせて確認作業を行う予定です。

問 43か所の指定避難所は障がい者や高齢者を受け入れるスペースはありますか。

今後、指定避難所内に福祉スペースを確保し、福祉事業所に協力をお願いしていきます。

マイナンバーカードと保険証の一本化

問 マイナ保険証未取得の方に対しどのような取組みをしますか。

保険証が廃止された後も特別な申請なしで資格確認証を送付していく予定です。

問 本市として、国に現行の保険証を残すことを求める考えはありますか。

ありません。国策でありますのでメリットになるよう全力で取り組む方針です。



岩田 玲子
(創造みらい半田)



半田市の带状疱疹ワクチン助成

問 80歳までに3人に1人が発症するといわれている、带状疱疹のワクチン接種は、2回接種で約5万円弱の高額なものです。寝返りを打つことも出来ない程の痛みを伴う带状疱疹ですが、市民の辛い状況や、助成があれば、との声は届いていますか。

帯状疱疹ワクチン助成の問い合わせは、接種費用の助成の有無や、助成制度創設の要望など、令和5年は、68件問い合わせをいただいています。

問 県内の带状疱疹ワクチンの助成状況を伺います。

令和6年4月1日時点において、带状疱疹ワクチンの助成を実施している自治体は、41市町村あり、全体の76%となっています。

問 最近の動向では、一回当たり一万円を2回接種分助成する自治体が多いようです。仮に助成した場合の費用を伺います。

接種対象を50歳以上とし、既に実績のある自治体を参考に、接種率を3.1%と想定した場合、年間約3千400万円の費用が必要となります。

問 带状疱疹ワクチンの助成を行うべきと考えますが、半田市の見解を伺います。

現時点において带状疱疹ワクチンの助成を行う考えはありません。

